

### 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0175800259		
法人名	株式会社 クオス		
事業所名	ほのかの里 桜丘		
所在地	夕張郡栗山町桜丘1丁目80番地		
自己評価作成日	平成28年2月25日	評価結果市町村受理日	平成28年3月30日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kan=true&amp;JigrosyoCd=0175800259-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kan=true&amp;JigrosyoCd=0175800259-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成28年3月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

原則や決まり事をみだりにつくるのではなく、お1人おひとりが自由でありのままにお過ごしいただけることを心掛けています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「ほのかの里 桜丘」は、栗山公園近くの自然環境に恵まれた静かな住宅地に立地している。広い敷地には畑や花壇が整備されており、庭先や近隣の野山で四季を身近に感じながらゆったりと過ごすことができる。屋内は清掃が行き届いた明るく開放感がある造りで、家庭的な雰囲気を大切に環境を整えている。管理者を中心に前回の課題に積極的に取り組み、運営推進会議を定期的に6回開催し、地震災害時の対応についても職員間で検討している。受診記録は、全職員が見落としなく確認できるように日々の介護記録に添付するなど工夫している。管理者は早番や遅番の時間帯を活用して各職員と個別に話しをしながら意見や提案を聞き取り、全職員で連携を深めながら利用者一人ひとりに応じた温かな対応を行っている。各利用者のできる事や好きな事を把握しながら、その人らしく楽しみを持って過ごせるように活動を支援している。職員間のコミュニケーションも良く職員の定着率も高い事業所である。排泄の失敗が少なくなるように取り組み、日中は可能な限りリハビリパンツやパットの使用を抑えてトイレ誘導を行っている。ミキサー食を提供している方にも、そのままの形態で食べられるか一つ一つ本人の意向を確認しながら細やかな対応を行い食事を提供している。職員の優しい対応に家族から感謝の言葉が寄せられている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者および職員は理念の下、ゆったりと楽しく笑顔で利用者様に寄り添い、暮らしに喜びや自信がわくように実践しています	法人共通の理念の下に、利用者一人ひとりが理念に沿った生活を送れるように、職員は日々意識しながらケアを行っている。また、会議や介護計画の見直し時に職員間で再認識している。今後、事業所独自のケア理念の作成も考えている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方から野菜を頂いたり、散歩の時などお庭を見せてくださり、あいさつ以外にも声をかけてくれます	事業所の夏祭りに地域のボランティアの協力を得たり、散歩をしながら近隣住民と会話をしている。デイサービスと合同で、カラオケ同好会の歌や演奏を楽しんでいる。日赤病院の研修生を受け入れている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の場面で地域の方から認知症の事について、質問があり翌月に、認知症の原因や予防などを議題にあげ話し合い理解を深めました		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度は6回の開催を目標としております。各管理者が利用者様の状況を報告し、議題も専門職の方に依頼して協議することで、実践への振り返りにもなり運営に活かされております	家族代表やテーマに応じて消防署員なども参加し、災害時の心構えや感染症予防対策、認知症の症状や予防などをテーマに開催している。今後は、参加できない家族にも分かりやすく、議事録を更に充実させたいと考えている。	全家族にテーマを記載した会議案内を送付して事前に意見を聴き取るなど、参加できない家族の意見も会議に活かすよう期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護計画に必要な書類申請を窓口へ提出したり、書類上の確認などで相談したり、連携をしております。	管理者は、書類の確認や提出、介護認定の更新手続きなどで役場を訪問している。運営推進会議の時には、認知症カフェなどの情報も貰っている。管理者は役場の担当者とは顔見知りになっており、気軽に相談できる関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	何気ない対応や不適切と思われる場面ではその都度、話し合いや、具体的な行為を再度確認しながら、職員同士、共通認識を図っております。	身体拘束廃止マニュアルを整備すると共に、禁止行為11項目を事務所に掲示している。ベッドからの転倒を防止するために、拘束しない方法を検討してベッドの位置を移動したこともある。今後も、禁止行為について全職員で年1回は内部研修を行っていきたいと考えている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待につながる危険性のあるケアについて、職員の間で話し合い、注意し予防に努めております。		

ほのかの里 桜丘

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	対象者はおりませんが、学ぶ機会も残念なことになく今後、研修会があれば参加していきたい		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	代表者、運営者はご本人、ご家族と面談して契約説明をし、納得した上同意書等の署名、捺印を頂いております		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご本人、ご家族の意見、要望、不満などがあれば、ご家族ノートに記録しております。ご家族が来訪して何事も訪ねやすい対応を心掛けております。運営推進会議や町の相談窓口など、外部にも意見、苦情が表せる場がある事を説明していきたい。	管理者が中心になり、家族の来訪時などに日頃の様子をゆっくり丁寧に話をしながら、意見や要望を聴き取るようにしている。また、普段から信頼関係を築くように配慮して、些細な事も言って貰えるような環境づくりを行っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議の議題の他に職員の要望や意見を聞いて、集約し代表者に報告しております。	職員会議の他、課題がある時はその都度職員間で意見交換している。利用者の状態変化により、職員の提案で居室の家具の配置を変えたこともある。管理者は、早番や遅番などの時間帯を利用しながら職員と個別に話をする機会を設けている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は環境整備を整え、安心、安全に働ける職場づくりに努めております		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会の参加回数が少なくなってきたので、今後は職員が積極的に参加できるように努めたい		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修や内部研修に参加することで交流を図りケアの質を高めております		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期の段階でご本人の話に傾聴し出来る限りご本人の意向に沿うように対応してきました。お互いが馴染みの関係にあるように寄り添っていきたい		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期の段階でご家族に不安や困りごとがないか話を聞いておりました。何かあれば速やかに連絡しお話しすることで安心するような対応を心掛けております		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	意向、要望に沿えるように、支援内容を考え、早く馴染める環境になるように努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に暮らすことで、出来ることは、お手伝いしていただいたり、話に傾聴することで、安心されている。行事なども一緒に楽しんでおります		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の来訪時はご本人の話を傾聴することで、落ち着いたり、その姿勢に職員も学ぶ事もあります。共に支え合う関係づくりを築いていきたい		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族、ご兄弟など遠方からの来訪もあり、賑やかに楽しい時間を過ごされている。お墓参りやお正月を家族と外出する方もおります。	高齢化に伴い、来訪する知人や友人が殆どいなくなっている。親戚や孫などから年賀状などが届いている。栗山公園など、近隣の馴染みの場所に出かけている。家族と一緒に、外食や自宅で食事会を楽しんでいる利用者もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	心身の状態や気分、感情で毎日が変わるので、職員は日々情報を共有し注意深くみまもることに心掛けております		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も相談を頂いた時はできる限り支援できるように心がけております		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の会話や生活の動きや表情からご本人の把握に努めます。表現や発語が困難な方にはいくつかケアサービスを用意するなどそれぞれの思いに少しでも近づくように心掛けております	会話から希望や意向の把握が難しい方は、家族から聞き取ったりいろいろな働きかけをしながら思いを探っている。基本情報の生活歴に興味や嗜好などの変化を記入し、毎年書類を更新している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族から生活状況を聞いたり、入居者様の日々の生活リズムを観察することで把握に努めております		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人のできる力を把握し、その時の状況に合わせてお手伝いをお願いしたり、一緒にしたり支援しております		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	生活に対する意見や要望をご家族やご本人に尋ねております。入居者様に職員の担当を決めて、モニタリング、カンファレスしておりますがアセスメントにも関わって、入居者様を理解していきたい	担当職員を中心にサービス内容に沿って評価を行い、家族の意向を聞き取りながら3~6か月毎に介護計画の見直しを行っている。サービス内容に沿った変化や課題を介護記録に記入しながら、介護計画の見直しに活かしていきたいと考えている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活を介護記録に記入し職員同士で情報を共有し実践、介護計画に活かしております		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人、ご家族の状況に応じて、通院や送迎等必要な支援は柔軟に対応しております		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方と日々の交流を図り、地域行事にも参加していきたい		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2か所の医療機関を利用しております。専門的な医療機関が必要なときは、ご家族に相談して、受診につなげております。また、ご家族が同行している方もおります	往診対応が無くなり、現在全員が病院を受診している。家族と受診する場合は口頭で健康状況を伝えたり、本人自身で説明できる方もいる。受診記録は介護記録に添付して、全職員が確認できるように工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師が定期的に訪れております。状態の変化がある方はその都度、相談しており、アドバイスを頂いております		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にダメージが最小限に留まるように病院関係者と情報交換を行っております。又、早期退院に向けて、情報共有に努め、話し合いをしております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に「重度化対応、終末期ケア対応指針」説明しご家族、ご本人より同意を得ております。看取りの経験がありますが、職員は勉強会や研修会に参加してよりよい対応ができるようにしたい	利用開始時に重度化や終末期ケア対応指針と共に、医療行為が必要になった時や経口摂取ができなくなった時は事業所での対応が難しくなる旨を説明している。往診が無くなったため、事業所として可能な対応について再確認したいと考えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	日ごろから、入居者の身体状態を把握し職員同士話しあっております。わかりやすい介護図鑑において職員間の周知、連携を強化している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の避難訓練時は日中、夜間想定で行っている。施設内での日常的な場面で災害時を想定したシミュレーションを今後実施していきたい	消防署の立会いの下に、昼夜の火災を想定した避難訓練を実施している。災害時の対応について消防署からアドバイスを戴いたり、地震災害時の入浴時の対応について職員間で話し合っている。職員はAEDや心肺蘇生の講習を受講している。	
<b>Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	基本理念をケアに反映させ、さりげないケアを心がけております。個別ノートなどは人目に触れないように保管しております	職員は利用者に優しく寄り添い、個々に応じた言葉かけをするようにしている。申し送りは、利用者に関えないように事務所でやっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で個々に分かり易い言葉で声をかけたりし、色々な場面でご本人が決める場面作り工夫しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調や、気分を把握しその方の意見を尊重し過ごしていただいております		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髪型や服装等の身だしなみはご本人に確認しながらさりげなく支援しております。こだわりなどもご本人の気持ちを尊重しております		

ほのかの里 桜丘

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	皆で食べる喜びを感じとっていただけるように、寒い時期には鍋パーティーを実施しております。食事形態が違う方も鍋だとそのまま食べております。	法人が作成したメニューを基本に、誕生会や冬期の鍋料理など独自に変化を持たせた献立にしている。普段ミキサー食の利用者も、そのまま食べられるか本人に確認してから食事を提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量や栄養バランスを考慮し、その方の状況により、お粥やペースト食、刻み食を提供しております		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に声掛け、促しを行い、介助が必要な方は職員が行っております。月2回訪問歯科を受診される方がおりますが口腔内の状況や指導を受けております		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ご本人の身体能力により個々に対応しております。尿意や便意がある方はその都度対応し排泄間隔や排泄パターンのある方は随時対応しております。	全員の排泄記録をつけて、時間や利用者の様子を見ながら声かけ誘導でトイレでの自然排泄を支援している。下着も利用者の状態に合わせてリハビリパンツ、パット、布パンツを使い分けて快適な日常を過ごせるように配慮している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘による身体的影響や精神的影響を職員が理解し、繊維質の多いメニューや水分確保を心かけている。ほぼ毎日、体操、室内歩行し運動にも取り組んでいる		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	体調や気分をみながら希望の時間に心地よく入浴できるように支援している。流れ作業にならないように、自分で出来る場所をご自分で洗って頂いております。	入浴は週2回を基本として午後の時間帯に実施し、入浴剤などを利用して気持ちよく入浴できるように配慮している。シャワーチェアも用途別に3脚あり、脱衣場も事前にセントラルヒーティングの暖房で温めて快適な入浴を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の日中の活動量や体調、年齢など生活リズムを考慮しながら、居室の温度、湿度などに配慮し安心して眠れるように支援しております。眠れないときは寄り添い傾聴、飲み物の工夫等をしております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の処方薬の目的・副作用・用法・用量を確認し正しく理解できるように努めております。処方薬が変更時は体調の変化の観察を行い、医療機関の受診につなげております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	年を重ねるごとに認知症が進んだり、気力が低下したりで楽しむ事や役割の場面を作れなくなってきている。見たりする事で活力がわいてくる場面づくりの工夫をしていきたい		

ほのかの里 桜丘

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の天候具合や入居者様の体調をみながら日常的に散歩に出かけております。車椅子の方を入居者様が押してくれたり、共に支え出かけている支援をしております。ご家族がお祝いごとがあるたびに、外出されている方もおります。	日常的に、事業所周辺を車いすの方も一緒に散歩している。年間行事では、栗山や岩見沢に、桜、あやめ、バラ、紅葉などの見学に出かけている。屋外に東屋があり、ベンチで季節の花や野菜の生育を眺めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の希望があれば支援していきたい。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自ら連絡をとりたいと希望はないが、ご家族などから連絡があれば電話まで誘導し話していただくように支援しております		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は静かにゆったりと明るく居心地の良い空間作りに努めております。リビングから見える景色で季節の移り変わりを感じ、春になると小鳥が窓辺まできて、驚いたりすることもあります。	南向きの大きな窓から柔らかな陽が差し込み、居間のソファに座りながら庭先の木の芽吹きや野菜の成長が眺められ、エアコンやセントラルヒーティングで快適に過ごせる場所となっている。空気清浄機や加湿器で適温適度に保たれている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食席やリビングの座る場所は決まった場所に座ることで落ち着いて過ごせる。各自の居室では休憩したり、思い思いに過ごしております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	私物の家具や衣類、家族の写真やカレンダーを張ったり、ご本人のこだわりの物をご家族が選んで持ってきてくれております	各部屋には安全に配慮した暖房設備とクローゼットが設置されている。カーペット敷きの広い居室には家族の写真や歌手のポスター、趣味の作品や使い慣れた品物が持ち込まれ、安心して過ごせる空間になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各トイレ、浴室、廊下に手すりが設置されている。玄関には座れる長椅子や外にはスロープも設置されております。危険がないように物の配置に配慮しております。近くにある畑にもスロープを設置しております。		

目標達成計画

事業所名 ほのかの里 桜丘

作成日：平成 28年 3月 28日

市町村受理日：平成 28年 3月 30日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の案内を事前に全ご家族に送付していただき、ご家族からの議題に添った意見を集約できていない。	ご家族には運営推進会議の関心や重要性を理解していただく。	運営推進会議の案内を事前にご家族に送付し議題に添った意見を聞いて、議事録にも載せて作成しまた送付する。計画的に行う。	1年
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。